

2019年度スポーツ庁委託事業「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」  
大阪市地域セミナー 報告書

日時	2019（令和1）年6月11日（火）15：00－17：00
会場	大阪市教育センター
参加者	22名（大阪市教育委員会9名、推進校担当者12名、日本体育大学1名）
プログラム	<p>15：30 開会挨拶 大阪市教育委員会指導部人権・国際理解教育担当 首席指導主事 石井宏亨</p> <p>15：35 「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」について 日本体育大学 特別研究員 乳井勇二</p> <p>16：00 大阪市の取組 トップアスリートの取組 多文化共生プログラムの推進 ホストタウンの取組</p> <p>16：10 事務連絡・質疑応答 年間計画、予算執行、選手・講師派遣について、アンケート調査について、事業実施報告書について、C-net ゲストティーチャーについて</p> <p>16：35 推進校と担当指導主事との打ち合わせ</p> <p>17：05 閉会</p>
内容	<p>セミナーに先立ち、大阪市教育委員会石井宏亨首席指導主事より、本年度におけるオリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業についての趣旨説明と大阪市の方針についてご理解をいただき、ご協力をいただければとの挨拶があった。</p> <p>続いて、大学側より本事業の目的について、オリンピック・パラリンピック教育について、方向性と進め方について、他地域の実践事例について説明を行った。特に方向性と進め方については、推進校と地域が連携しムーブメントの拡大を目指していただきたいことや、それぞれの学校における教育理念や目標、さらには教育課程にオリンピック・パラリンピック教育の要素を交えて進めることで負担を軽減できることを強調した。</p> <p>大阪市教育委員会からの説明では重点項目であるトップアスリートによる取組、多文化共生プログラム、ホストタウンの取組についての説明があった。例年行われているオーストラリア車いすバスケットボールチームとの交流ではできるだけ多くの推進校の参加を望んでおり、協力を促していた。</p> <p>セミナー後半では校種別に分かれて、教育委員会担当者との情報交換を行った。今年度の計画に加え、招聘するアスリートの選定など具体的な議論がなされ、とても有意義なセミナーとなった。</p>



会場の様子



情報交換の様子